

東海市立平洲小学校建替えに関する保護者・地域住民説明会の結果報告

1 開催日時

令和8年（2026年）4月11日（土）11時から12時15分まで
（受付：10時30分から）

2 場所

平洲小学校体育館

3 参加者

120名（事前申込：105名（保護者80名、地域住民25名））

4 当日の流れ

- (1) 部長挨拶 3分程度
- (2) 東海市立平洲小学校建替えに関する説明 12分程度
- (3) 質疑回答 1時間程度

5 説明会の主な質疑回答要旨

(1) 施設・敷地の活用について

質疑：中学校敷地内に小学校を建設した場合、1,000人規模の児童生徒に対して十分な運動場や活動スペースを確保できるのか。また、具体的にどのような配置や運用を想定しているのか。

回答：シミュレーション上、校舎を建てるスペースは確保できる。ただし、運動場が従来より狭くなる。具体的な運用は今後1年かけて検討する。

質疑：現在のコミュニティ会議室が非常に狭いため、新校舎には適切な規模のコミュニティ活動スペースを確保してほしい。

回答：検討材料の一つとして考慮する。

質疑：小学校移転後の現在地の利用計画はどうなっているのか。断層の存在を考慮した上で、どのような活用方法を検討しているのか。

回答：断層があるため建物は建てることは考えていないが、駐車場としての利用などを検討する。

質疑：平洲中学校も建設後40年経っているので、同一敷地内に建設するなら、小学校と中学校を同時に改築する考えはないか。

回答：市の公共施設は80年使用することとしているため、今後の計画の中で

調査・検討する。

(2) 安全性と防災面

質疑：移転完了まで約10年かかるとのことだが、その間、現在の校舎の安全性は確保されているのか。

回答：平成26年の調査で「あと20年以上は持つ」との結果が出ている。耐震補強も済んでおり、即座に崩壊する危険はない。

質疑：断層上にある現在の学校を避難所として使用し続けることの是非について。また、小中学校の統合により地区の避難所が1カ所減ることで、十分な収容人数を確保できるのか。

回答：防災担当部署と連携し、どういった対応や周知が可能なのか検討し、速やかに進める。

(3) 教育環境・学校運営

質疑：小中学校が同一敷地内に設置されることを踏まえ、小中一貫校としての運営や、それによる教育の質の向上についてどのように考えているか。具体的な構想はあるか。

回答：一貫教育の議論についても、同一敷地内に設置されることを踏まえ、今後の検討課題とする。

質疑：中学校敷地内での工事期間中、騒音による授業やテスト等への影響をどのように軽減する予定か。

回答：学校側及び工事施工業者と密に連携し、テスト・行事の時間は作業を休止するなど対策する。

質疑：小中学校が同一敷地内にあることで、運動会などの学校行事が重複する可能性がある。その場合、休校日が増えるなど、学習に影響は出ないか。

回答：行事のために学校を休みにすることはない。スケジュールの調整で対応する。

(4) プロセスと情報の透明性

質疑：「新しい学校像」を1年という短期間で決定するのは拙速ではないか。80年使用する建物であることを考慮すると、より長期的な視点での検討が必要ではないか。

回答：1年を目標に進めたいが、必要に応じて時間をかけて議論する。

質疑：PTA側からの提案として、以下の点を検討してほしい。

- ・PTA全体への意見集約システムを活用し、様々な意見を体系的にまとめて市に提供したい。
- ・説明会に参加できない人のために、文書で意見を述べられる仕組みを作りたい。
- ・感情的になりがちな説明会よりも、客観的な意見収集の方が効果的ではないか。
- ・このシステムを通じて集めた意見を市に提示したいが、それを参考にしてもらえるか。

回答：提案いただいた内容について感謝する。今後の情報提供や意見聴取の方法については、ご提案の内容を踏まえて検討し、相談させていただきたい。

質疑：説明会の開催情報が十分に周知されていない問題がある。町内会に入っていない住民も多く、回覧板だけでは情報が行き届かない。今後の説明会では、より幅広い住民に情報が伝わるような周知方法を検討してほしい。

回答：いただいたご意見を参考にし、今後の説明会の周知方法について検討する。

質疑：学校の移転に伴い、通学区域の変更や保育園との連携にも影響が出ると考えられる。これらについての具体的な検討状況や今後の方針はどうなっているか。

回答：現時点では決まっていないが、いただいたご意見を参考に連携についても検討する。